

## 「学校統廃合基本計画」財政的根拠はあるのか

教育委員長…考慮していません



村岡 藤弥 議員



教育委員会による住民説明会（豊田小学校）

「最良案は新用地（井出周辺）を。ただし、用地取得や財政事情により長期化する場合は旧大石田高校周辺案も考慮する」という教育委員会の報告をどう考える。  
町長 当町の財政状況を課題として考慮することなく、理想的な教育環境について検討されたら聞いており、現段階では事業規模や内容まで答弁できないが、さまざまな状

況と整合をはかりつつ、尊重しながら事業を実施する。  
今後の事業展開は、町長 最終的な報告を受けてから財政との整合をはかりながら、早急に事業実施について検討。慎重且つ鋭意に取り組みます。  
財政的根拠なしの計画なのか。  
教育委員長 財政に関する部分は専門部局にお願いし、教育委員会では考慮していません。  
平成16年提出、学校統合整備委員会答申では、今、試算されている25・26億円規模の予算は組めないから、旧大石田高校跡地になった訳だが、現状は。  
総務企画課長 現段階で平成22年開校へ向け、26億円の予算は組めません。規模、場所の決定を見てから、現在進行中の諸事情の見直し精査を図り、学校予算の圧縮した額が出てくる形になります。



早期統合が望まれるなかの亀井田中学校入学式

小学校統合も緊急の課題である。暫定的に当面は3校とする案が提案されているが、3校にした場合でも数年後には複式学級が発生する。これまでの考えはさらりと捨て、亀中案を採用し、統合小学校を旧大石田高跡地に建設するのであれば平成22年に小中同時開校も可能になるのでは。

教育委員長 教育委員会としては想定したことはないが、一つの案として参考にした。

## 〈学校施設整備基本方針〉

— メイン・スローガン —

### 大石田らしい「いい教育」を 「安全・安心」「自立の町」 につながる校舎で



小玉 勇 議員

統合中学校は一日も早く  
教育委員会に再検討を依頼して早や1年、2月7日に説明があった中学校に関する中間報告をどう思っているか。  
町長 将来にわたって最も理想的な小中学校教育環境の整備計画を検討されていると聞いていますが、財政の実態との整合も不可欠でありますので、答申を尊重しながら慎重に判断し、実現性のある計画のもとに、平成22年度開校を目指したい。  
地方教育行政の組織及び運営に関する法律によれば、学校の敷地の選定は教育委員会の職務に属するように思うが。  
町長 用地の面積・配置

などの計画は教育委員会に属すると考えるが、敷地自体の選定に関しては、教育委員会の職務権限ではないと考えています。  
教育再生会議が、いじめ対策の最終手段として進めている「出席停止」について、教育委員会はどのように考えているか。  
教育委員長 当町において「出席停止」については学校長からの報告は一つもありません。また、いじめが原因とする転校も該当者なしです。ただし、県外に転校した子どもの母親からの相談に、不登校の陰に非行仲間からのいじめもあったように感じた事例もありました。

## 教育委員会の中間報告をどう考えるか 町長：答申を尊重しながら慎重に判断したい



「出席停止」の問題点は、教育委員長 生徒は「学習権」がある以上、遅れた分は家庭訪問指導、補習をしなければならぬ。また、保護者は「就学義務」がある以上、保護者の同意が必要であり、現実的に先生方にとって非常に大変なことです。問題のある生徒を放置すること自体が問題です。

し、また、再登校した時の居場所のことも考えなければなりません。